

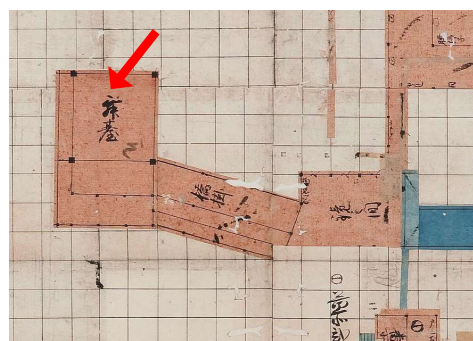
能楽関連史料をめぐって

一 藩主忠房公の能楽 一

本市では、2018 年度（平成 30）から未整理古文書の調査を行っています。この調査指導委員会委員長を務める講師が、能の謡本や藩主と能にまつわる記録を多数所蔵する「肥前島原松平文庫」の資料を紹介します。今年度、島原城新能は 40 回記念を迎えます。この機会に、島原と能楽の関係を学んでみませんか。

三ノ丸絵図（部分）肥前島原松平文庫所蔵

絵図から島原城三ノ丸の御殿には、能舞台があったことがわかる。



◆日時 **10 月 6 日（木）**

午後 **7 時** ~午後 8 時 30 分

◆場所 **森岳公民館 大ホール**

◆講師 **岩崎 義則 氏**（九州大学人文科学研究院 准教授）

◆参加費 **無 料**

参加申込みは、こちらから→



◆定員 **50 人**（9/1 から受付開始。先着順）

◆申込 **電話 68-5473 または インターネット**



【講師プロフィール】

岩崎 義則（いわさき・よしのり）

1968 年 3 月、大分県生まれ。県立長崎南高等学校卒業。1986 年 4 月、九州大学文学部入学。歴史学（日本史）専攻。同大学の修士課程・博士課程を修了し、九州大学文学部助手を経て、1999 年 4 月、県立長崎シーボルト大学着任。2005 年 4 月、九州大学文学部へ転任し、現在に至る。文学博士。2019 年 2 月から島原市所蔵古文書調査指導委員会委員長を務め、本市所蔵の未整理古文書等資料の調査にあたっている。写真は、本市古文書調査の様子。岩崎委員長は、写真に向かって左奥。